



◇第2720地区 八代ロータリークラブ ◇例会日 毎週水曜日 ◇会場 セレクトロイール八代
 会長 中山 英 朗 会報編集者 緒 方 大 輔 年度 No.24
 幹 事 古 田 浩 二 令和3年1月6日発行

第3048回 例会

会長の時間

中山(英)会長

今週も残念ながら通常例会が開催できません。特に今週は次年度の理事選出という大切な総会を開催予定でした。方法論として定款・細則には記載されておいてませんが、FAXにて書面決議が出来ないか会員の皆さんにお伺いをした結果、賛成頂いた方が過半数を超えましたので、改めて一昨日賛否を問うFAXをさせて頂きました。本来であれば鋤馬把パスト会長より発表頂く案件でございますが、竹永会長候補を始め理事候補のご承認を頂き、誠にありがとうございました。

先週の水曜日、適応指導教室“くま川教室”を古田幹事、瀬高委員長と訪問しました。目的は来年のカレンダーを受け取る事でした。本来であれば、高見パスト会長から続く交流をもっと深め、会員の皆さんにその報告をするべきなのですが、やはりコロナ禍においてしっかりした交流が出来ませんでした。皆さんに配布するカレンダーは、くま川教室との絆です。この交流を切らさないように心にとめましょう。

また、12月20日(日)に八代リトルシニアの卒団式に参加してきました。本来であれば9月に室内にて来賓をお招きして行うのですが、今回はコロナ禍で野外の県営八代球場にて、身内のみ(シニアスタッフ、卒団生、在団生及びそのご両親)で開催されました。天候もよく八代RC

1月13日のプログラム		1月20日のプログラム	
本日のスマイル	円	累計	467,000円

よりスタッフとして磯田会員、内田会員、私の3名の参加でした。あいにく私はその後のお別れ試合の観戦は出来ませんでした。参加した卒団式で子どもたちの後輩、先輩に贈る言葉、ご両親が我が子に対して、リトルシニアに対しての言葉に感動しました。特に今回は卒団生の中に、豪雨災害で被災した人吉から通う選手が2名おり、彼らが最後まで諦めず野球を続けてくれたこと、また二人を支えて、八代に最後まで送迎頂いたご両親に感謝でした。

最後になりますが、コロナの話題です。前回も報告した通り、英国でワクチンの接種が始まりました。にもかかわらず英国で感染率が70%増しのコロナの変異種が発見され、ロンドンでは3度目のロックダウンとの報道がありました。日本においても感染者が20万人を超え、死者数も3千人に届こうかとの状況になっております。また、八代においても初のクラスターが発生しました。さらに、医療関係の逼迫した現状として「医療緊急事態宣言」が出され、日本医師会・中川俊男会長が「国民みんなで真摯(しんし)に新型コロナウイルスに真正面から向き合いましょう。『感染しない、感染させない、うつさ

◆ 出席報告 ◆

会員総数	出席免除 会員数	計算上会員数	ホームクラブ 出席数	当日分メーク アップ済会員	合計
名	名	名	名	名	名
	補填会員数	合計		他出席会員 (メークアップ)	本日出席率
名	名	名	%	名	%

ない、うつらない』を合言葉に、静かに過ごし、クリスマス、年末年始を乗り切りましょう」と訴えられました。年末年始を迎え、普段なら家族の帰省を心待ちにし、懐かしい旧友との再会を期待する時期でしたが、今年はそのような機会は期待できそうにありません。新しい生活様式並びに中川会長の言葉を守り、普段の生活を1日も早く取戻しましょう。

幹事報告

古田幹事

○くまがわ教室より手作りのカレンダーを頂きました。

◎例会取り止めのお知らせ

- ・八代南RC 1月5日(火)は定款に基づき取り止め。
- ・宇土RC 1月6日(水)の例会は定款に基づき取り止め。

2020～2021年度の年次総会

鋤馬把直前会長

本来なら23日の例会時に、クラブ定款、第7条第2節による年次総会を開催する予定でしたが、コロナ感染者が休会規定に達し、FAX書面による審議となりました。

さる12月2日に八代ロータリークラブ細則、第3条の理事役員の選任について指名委員会を、パスト会長の皆様により開催致しました。竹永会長エレクトより推薦された次年度会長ノミネーに、岩橋恵一会員の指名承認と次年度理事の推薦承認を、参加パスト会長の皆さんに賛成を頂きました。

FAX書面にて会員の皆様に次年度理事の審議を頂きましたところ、次年度会長ノミネーの岩橋恵一会員をご承認頂きました。

また次年度竹永会長年度の理事の推薦承認の審議も致しました。

会長エレクトに鶴田稔、副会長に岩橋恵一、幹事に宮崎哲也、直前会長に中山英朗、5大奉仕担当理事の職業奉仕担当に緒方大輔、社会奉仕担当に吉田明子、新世代奉仕担当に中山諭扶哉、国際奉仕担当に吉武卓也、会計に本村孝博が推薦され、次年度理事の推薦承認も書面により賛成を頂きました。異例の年次総会でしたが、

週報にてご報告を致します。

本来は会則規定にない書面による年次総会でしたが会員の皆様に、ご協力頂きましてありがとうございました。

上半期を振り返って

中山(英)会長

早12月も終盤を迎え、2020～2021年度もスタートから半年が過ぎようとしております。

7月1日、古田幹事と共に松井神社にて1年間のクラブ運営安全祈願を行いスタートした本年ですが、一方では年当初より全世界的に広まった新型コロナウイルス感染症のため、例年行う第5グループの各RC相互訪問、挨拶回りも出来ず、国際奉仕委員会が主催する短期青少年交流事業中止の申し出を姉妹クラブである西釜山RC会長に書面にて通知、了承いただく等、八代ではまだ発生しておりませんでした。県の規定に準じたコロナ対策を鑑み例会開催規定を定めてのスタートでもありました。

また、7月3日夜半より降り続いた雨により、7月4日(土)熊本豪雨災害発生、例会での挨拶は、ほぼ坂本町の災害復旧に関することでした。また月末に八代でコロナ患者の発生により、インターアクトの例会出席及び8月1日に予定していたボランティア活動を中止しました。

8月は、コロナ禍で通常例会開催を中止し、週報による例会としました。予定していたガバナー公式訪問も延期せざるを得ませんでした。なんとか通常例会の開催が出来ないか、理事会を招集し、“八代で5名以上のコロナ発症者があたら通常例会を中止する”と規定を変更し、ソーシャルディスタンスの確保が出来る会場設営、検温、消毒の徹底、時間短縮での開催を取り決め、9月から通常例会再開を決めました。

なんとか、11月第3週までは、外部からの講師をお招きしての卓話、内部卓話、職場訪問例会として開港前の“くまモンポートやつしろ”の見学と順調に開催ができ、待望の硯川ガバナーをお招きしてアドレスも聞く公式訪問例会も開催出来ました。この間I. D. Mも開催され、本来の活動に近い形でのクラブ運用が出来ました。

しかし、11月終盤からのコロナの猛威により、次年度理事選出を行う総会も開催できず、会員

皆さんの同意を得て異例ではありますが、議案の書面決議となりました。

これ以外にも、例年行っている、せせらぎ水路の手入れも外注し、新たな会員を迎えての歓迎会の開催中止と様々な問題が発生した上半期でした。

後半に向けては、新たな年を迎えることもあり、年末の残された日々を静かに過ごし、ワクチンの開発、接種も他国では始まっており、年明けも後半は、少しでもコロナの影響が減少し通常総会開催、並びに後半に予定している各委員会事業が出来るように期待します。

上半期を振り返って

古田幹事

上期を振り返ろうとしたのですが、正直、まだ振り返ることができません。というのもコロナ禍における運営は、誰もわからず、未知なので、今うまくいっていると思っても、これからどうなるか予想がつかず、常に不確かな状態だからです。来年の6月30日には、「そんなにしゃべるな！」というくらい、たっぷり時間を頂いて、しっかり振り返り、次年度以降伝えたいと思います。

しっかり振り返ることはできませんが、今日まで夢中になって取り組むことができていたことは自信をもって言えます。失敗は多々ありますが、中山会長、そして委員長の皆さん、松岡事務局に支えられながら、充実した学びの多い幹事職をさせて頂いています。半分が終わって、もう一度、7月1日(水)晴天の中、中山会長と松井神社で実りある一年になることを祈願した気持ちを思い出し、これからも夢中になって運営を行っていきますので、会員の皆様のご協力とご鞭撻をお願い申し上げます。

2720地区 ガバナー月信 vol.6 より抜粋 半年を振り返って

硯川ガバナー

皆様、こんにちは。いよいよガバナーの任期も半年過ぎようとしています。

コロナ禍の中、7月4日におきました熊本・大分の豪雨災害により、多くのロータリアンが被災されました。ここで改めて、お見舞い申し上げます。

地区としましては、全国から頂いた支援金を基に、まずは被災されたロータリアン自身が元気になるってもらう支援を日々変わりゆく要望に応えながら推進していきました。もちろん各個人、各クラブ、各職場単位でも皆様からの多くの支援が行われました。次に、被災されたロータリアンがクラブを通じて地域のニーズに対して手を差し伸べて頂きました。そして今からは、今後必要となる様々な支援を被災地域のロータリアンに情報収集してもらい、それを地区全体のクラブで応援していく段階です。さらに中長期的な支援のアイデアもこれから生まれてくるでしょう。そして将来的には、支援頂いた全国のクラブに向けて、復興していく姿を様々な方法で伝えていく事だと思います。それには、これから数年かかるのではないのでしょうか。

さて、私自身ですが、公式訪問を終えることができました。ただ、コロナ禍、豪雨水害により、会長・幹事会のみ行い、まずは、DVDでガバナーアドレスを観て頂き、のちに交流会としてお訪ねする予定のクラブがありましたが、コロナ禍のタイミングをみながら、多くのクラブの公式訪問を復活することが出来ました。それぞれのクラブの歴史、特色に触れながら、多くの感動を頂くことができました、心から感謝申し上げます。

その中で特に印象的に感じましたのが、IT化の推進でした。このコロナ禍の中、半年前は、ただ、休会にしていたものが、今では様々な方法で、コミュニケーションをとる工夫をされていることでした。オンライン化はロータリーの中で一気に進んだ気がいたします。一方で、この半年間で3密を避けながら、フェイスtoフェイスで一堂に会するための知恵も皆さんは多く学ばれました。今月は「疾病予防と治療」月間

ですが、日ごろのうがい、消毒、マスク着用の習慣は、確実にコロナ禍以外にも役立っていくのではないのでしょうか。

昨年、瀧直前ガバナーから、各セミナーの負担軽減の提言がありました。そこで、ガバナーエレクト時より満足度を増すために、複数の部門が一体となって行う融合セミナーの開催、あるいは開催場所を多くの場所にする工夫、など考えておりました。そこに来てのコロナ禍であったわけです。皮肉なことにコロナ禍はオンラインの進歩を促し、リアル会場との結合により、全く新しい形のハイブリッドセミナーが複数誕生いたしました。国際奉仕・社会奉仕・公共イメージ合同セミナー、職業奉仕セミナー、ローターアクト提唱クラブ報告会等です。しかし、新しい挑戦にはトラブルがつきものです。うまく音が出ない、画像が届かないなど多々ありますが、次のステップへ必ず繋がります。きっとアフターコロナでも大いに役立つと確信をもっています。

かの「種の起源」の著者チャールズ・ダーウィンも「最も強いものが生き残るわけではなく、最も賢いものが生き続けるわけでもない、唯一生き残れるのは変化できるものである」と述べています。変化すること、挑戦することへの失

敗をおそれず、一步步つ前へ進んで参りましょう。

後半に向けましては、青少年部門では、ローターアクトの将来像をローターアクト、提唱クラブとも協議しながらも、大学等での新クラブ設立にも挑戦したいと思っています。

また、RYLAへの理解を深めて頂き、研修会を天草で開催する予定です。会員増強部門では、衛星クラブを設立し、また、女性会員懇談会へ向けた意見交換を、多くの女性会員同士で、リモートで語り合ってもらいたいと思っています。その過程がとても重要だと考えています。さらに、国際奉仕部門では、グローバル補助金を考えた時、米山記念奨学生の方々の役割は非常に大きいと思います。そのための米山学友を充実していきます。社会奉仕部門では、豪雨災害でこれから必要とされる支援の情報を収集し、地区内クラブへの発信をしていきたいと思っています。

さて、地区大会を来年3月13日・14日に新しく完成しました熊本城ホールをメインに開催いたします。3密に配慮しながらもコロナ禍を吹き飛ばす決意で準備を進めています。変わりゆく熊本駅、サクラマチ・クマモト、復興していく熊本城をご覧頂きながら、熊本の元気を感じて頂きたいと思っています。多数のご参加よろしくお願いたします。



公式訪問風景